

会田桃子 ハクエイキム

violin piano

2018 07月21日(土)

開場 19:30
開演 20:00~

(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3000 円 + 2drinks order

CAFE **B**EULMANS

03-3484-0047

info.cafebeulmans@gmail.com

東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
ご記載ください。



会田桃子

横浜市生まれ。3歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業。在学中よりアストル・ピアソラやアルゼンチンタンゴに興味を持ち、バンドネオン奏者小松亮太氏のタンゴバンド「小松亮太&ザ・タンギスト」でタンゴの演奏を始める。卒業後は小松氏のバンドで数年間ソロバイオリン奏者を務め、国内外のコンサートで活躍。その後度々本場ブエノスアイレスを訪れ、現地のミュージシャンたちとのライブや、ブエノスアイレス市立タンゴオーケストラ学校への短期入学などで研鑽を積んだ。2000年 ジャズ的要素を用いた斬新な編成まで幅広いレパートリーを持つ現代タンゴバンド「クアトロシエントス Cuatrocientos」を立ち上げる。2009年 ピアニストの青木菜穂子と共にオルケスタ・アウロラ (6重奏・ヴァイオリン2バンドネオン2 ピアノベース) を結成。古典的なアルゼンチンタンゴのアプローチで、リーダー二人の作編曲を、巧みな6人のアンサンブルで聞かせる。2009年 アストル・ピアソラ作品、オリジナルなどを演奏。Jazzの即興性をより強く含んだ、更に新しい形のタンゴを模索するネオアルゼンチンタンゴバンド「M.Locura」を立ち上げる。2010年 ギターのChiei、ケーナ・サンボニーヤの山下TOPPO洋平と南米音楽のエキスパート3人で共に立ち上げた「とぼけるっちょ」。同年12月、ファーストアルバム「とぼけるっちょ」をリリース。それぞれのオリジナル、タンゴ、ウルグアイ音楽などを3声のコーラスで聞かせる。

ハクエイ・キム

韓国人の父と日韓ハーフの母のもと、京都市に生まれる。5歳の頃からピアノを始める。高校在学中にエマーソン・レイク・アンド・パーマーなどに影響を受けロック・バンドを始め、94年YAMAHA主催「ティーンズミュージックフェスティバル札幌」において、「ベストキーボーディスト」を受賞。高校卒業後、オーストラリアへ渡り、シドニー大学音楽院(Sydney Conservatorium of Music, the University of Sydney)に入学。在学中はECMレーベル等に作品を発表しているオーストラリアを代表する名ピアニストマイク・ノックに4年間師事し、氏の音楽観に多大な影響を受ける。2005年、11年に渡る滞在後帰国。同年5月にDIWよりデビュー・アルバム『Open the Green Door』を発表し、国内のみならず、フランスのジャズ誌『JAZZMAN』で4つ星の高評価を受ける。2009年にピアノ・トリオ Trisonique (トライソニック) を杉本智和(b)、大槻KALTA英宣(ds)と共に結成。2010年8月には、渡辺貞夫のツアー・グループに抜擢される。2011年1月、『トライソニック』でメジャー・デビューを果たす。タイトル曲はテレビ東京系列全国ネット『美の巨人たち』のエンディング曲に採用された。2011年12月、自身初となるソロ・ピアノ・アルバム『ブレイク・ジ・アイズ』を日本と韓国でリリース。2012年2月にはDVD『ソロ・コンサート』をリリースした。2013年7月10日にトライソニックとして初めてエレクトリック・サウンドを採用した最新作『ボーダレス・アワー』を発表する。